学校番号	T0207

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（学）市民教養	単位数	2 単位	年次	4 年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な家・社会の有意な形成者として必要な市民としての資質を養うことを目的とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】国内外の社会事象について理解する。政治思想・経済理論・歴史的背景等についてその基本的事項を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】さまざまな社会問題の要因を探り、その対策を考察する。自分の意見をもち、その意見を他人に伝える能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために現実茶会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を培うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を培う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本社会を取り巻く社会事象について幅広く理解するとともに、諸資料から、政治思想・経済理論・歴史的背景等について読みとり、適切にまとめ、基本的事項を身につける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考えや現実社会にみられる複雑な課題を把握しながらその原因を探究する。また、その身に着けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、現実可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画について表現している。	よりよい社会の実現のために現実茶会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を培うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を培う公民として、国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本の政治のしくみ・国際政治のしくみ	①立憲主義･憲法改正 民主主義の根拠 ②選挙制度･民意の反映 ③外交･安全保障 ④国際社会と国際法 ⑤諸地域の実情と課題	a:政治と国家、政府が何であるか、日本の安全保障をめぐる現状と課題、自衛隊の海外活動の現状といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し、適切に扱うことができている。 b：政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、適切に表現している。 c:国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	･定期考査 ･小テスト ･レポート課題	･定期考査 ･レポート課題	･レポート課題 ･振り返りシート ･授業内課題

後期	経済のしくみ・経済政策の在り方	①経済循環のしくみ ②通貨とは何か ③エネルギー・原発 ④日本の農業と食料	a:各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や政治および経済の基本的な概念や理論など）を整理し、理解している。各課題の解決に向けた考察・構想に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 b:社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 c:よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題	・定期考査 ・レポート課題	・レポート課題 ・振り返りシート ・授業内課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度